

トヨタ紡織、シート、内装品などが新型車「bZ4X」に採用

トヨタ紡織株式会社（本社：愛知県刈谷市、取締役社長：沼 毅）は、シート、内装品などを開発し、トヨタ自動車株式会社がTOYOTA bZ^{※1}シリーズ第一弾のミディアムセグメントSUV型BEV^{※2}として、2022年4月国内販売について発表した新型車「bZ4X」に採用されました。



リヤシート
2段階リクライニング（傾斜6度）

1. シート

フロントシートはスポーティシートが採用されました。また、リヤシートは2段階のリクライニング機構付きシートが採用され、後席の快適性とラゲージルーム（荷室）の利便性向上に貢献しています。



2. 内装品

人の触れる部位には表皮材を使用し、インストルメントパネルとのつながり部に大型の加飾パネル（①）を配置したドアトリムが採用され、高級感を演出しています。

また、ユーザーの利便性向上のため、ドアトリムにペットボトルが2本収納可能な大型ポケット（②）などが採用されました。



3. そのほか搭載された当社製品

天井、カーペット、キャビンエアフィルターなど

トヨタ紡織は、本車種を皮切りに開発部品領域を広げ、内装全体の企画、デザイン、開発、調達、生産までを一貫して提案できる真の内装システムサプライヤーを目指し、ホーム^{※3}になるために競争力の強化に取り組んでいきます。

※1 beyond Zero（ゼロを超えた価値）

※2 Battery Electric Vehicle（バッテリー式電気自動車）

※3 「現地現物」で、自分たちで付加価値をつけることができ、競合と比較しても競争力で勝っている事業や地域のこと